学校番号	3037

令和８年度　国際人材科

教科	国際人材	科目	(学)ＧＨＷ	単位数	3 単位	年次	3 年次
使用教科書	「グローバルワイド　世界史図表」（第一学習社） 「実戦攻略　歴史総合,世界史探究　大学入学共通テスト問題集」（実教出版） 進研 WINSTEP 世界史探究（株式会社ラーンズ）						
副教材等	「新　世界史」（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界中に生きる人類の歴史を、人物・政治・経済・社会・文化を中心に学ぶ。3 年次には同時にユーラシアの交流や科学技術の発展、感染症や食材との人類の関わりなど幅広いテーマに学びの領域を広げる。それらは常に世界の国際情勢とも関連していることにも気づくことができる結びつける力を養う。また歴史総合で学んだ近現代史を、より深く事象の背景について学び、自らが切り開くこれからの時代のヒントとして欲しい。
授業内では 2 年次よりも、図像資料や文字史料を多く読み解き、先人たちの歩みを客観的に捉え、自分の考えを述べられる知性を獲得していく予定である。

2　学習の到達目標

・【知識及び技能】世界の歴史の展開に関わる諸事象についてグローバルな視点から捉えて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・【思考力、判断力、表現力等】世界の歴史の展開に関わる事象の意味・意義などをグローバルな視点から考察したり、歴史に見られる課題を把握しその解決を視野に入れて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり議論したりする力を養う。
・【学びに向かう力、人間性等】世界の歴史上の諸事象について、よりよいグローバル社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、現代を生きる人類としての自覚、自国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	世界の歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりしている。また、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	世界の歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に考え、解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	諸地域世界の交流・再編	1 ヨーロッパ人の海洋進出 2 世界の一体化とその進展 3 近世の始まり 4 宗教改革 5 主権国家体制の成立 6 オランダの覇権から英・仏の抗争へ 7 北・東ヨーロッパの動向 8 近世ヨーロッパの思想と社会	a:ヨーロッパ世界の変容と拡大をその時代背景を踏まえて理解している。 b:西欧各国の発展を比較し、その特徴と相違点を根拠を示しながら文章で説明することができる。 c：西欧世界の拡大が果たした人類史上の役割をその背景を理解しながら、探究的に学ぼうとしている。	定期考査 復習テスト	定期考査 レポート	レポート グループワーク
1	諸地域の結合・変容	1 商業社会と産業革命 2 アメリカ革命 3 フランス革命とナポレオン 4 反動と改革 5 1848 年の諸革命	a:近代という時代の特徴を各国の歴史事象を踏まえて理解している。 b:各地域の近代化を比較し、その特徴と相違点を根拠を示しながら文章で説明することができる。 c:市民革命が果たした人類史上の役割をその背景を理解しながら、探究的に学ぼうとしている。	定期考査 復習テスト	定期考査 レポート	レポート グループワーク

2	新国家の建設と世界市場の形成	1 アメリカ合衆国の発展 2 ラテンアメリカとカナダ・オーストラリア・ニュージーランド 3 イギリスとフランスの繁栄 4 クリミア戦争とヨーロッパの再編	a:近代国民国家の変容を通じてその特性を踏まえて、国民国家の成熟を理解している。 b:各地域の国民国家を比較し、その特徴と相違点を根拠を示しながら文章で説明することができる。 c:国民国家の成立と拡大が果たした人類史上の役割をその背景を理解しながら、探究的に学ぼうとしている。	定期考査 復習ﾃｽﾄ	定期考査 レポート	レポート グループワーク
	アジア諸地域の動揺	1 西アジアの動揺 2 南アジア・東南アジアの動揺 3 東アジアの動揺	a:西欧の進出に動揺するアジア世界の動揺を理解している。 b:各地域の侵略を比較し、その特徴と相違点を根拠を示しながら文章で説明することができる。 c:西欧世界の拡大によって、支配下に置かれたアジア世界の状況を、背景を理解しながら、探究的に学ぼうとしている。	定期考査 復習ﾃｽﾄ	定期考査 レポート	レポート グループワーク
2	帝国主義と世界	1 現代社会の特質 2 帝国主義と列強 3 アジアの民族運動	a:帝国主義の拡大と民族運動との関連性をその諸条件を踏まえて理解している。 b:各地域の植民地政策と民族運動を比較し、その特徴と相違点を根拠を示しながら文章で説明することができる。 c：民族運動が植民地支配に与えた影響をその背景を理解しながら、探究的に学ぼうとしている。	定期考査 復習ﾃｽﾄ	定期考査 レポート	レポート グループワーク
3	第一次世界大戦	1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制と欧米諸国 3 アジアの動向	a:史上初の世界大戦と社会主義革命が人類史に与えた影響を理解している。 b:戦間期の世界が次なる大戦に繋がりを持つことを史料を示しながら文章で説明することができる。 c:第一次世界大戦が人類史上に与えた役割をその背景を理解しながら、探究的に学ぼうとしている。	復習ﾃｽﾄ	レポート	レポート グループワーク

3	第二次世界大戦と諸地域の変容	1　世界恐慌とファシズム 2　第二次世界大戦 3　戦後の世界と冷戦 4　アジアにおける冷戦 5　冷戦の展開	a:世界大戦の発生が思想的な暴走だけではなく、経済的な対立が背景にあるとことを理解している。 b:第二次世界大戦が世界に与えた影響を史料を通じて、根拠を示しながら文章で説明することができる。 c:20 世紀の人類が経験した惨禍から主体的に学び、学び続ける主体としての人間であろうと志向している。	復習ﾃｽﾄ	レポート	レポート グループワーク
3	第三世界の形成と世界経済の動揺	″1　第三世界自立の模索（第Ⅴ部扉含む）″ 2　世界経済の動揺と第三世界の動向 1　紛争解決への取り組みと課題 2　経済のグローバル化と格差の是正 3　科学技術の高度化と知識基盤社会	a:世界各地域の現代的課題を歴史的な背景を踏まえて理解している。 b:現代世界の諸問題を歴史的な背景を根拠に理解し、文章で説明することができる。 c:グローバリゼーションの背景にある人類の経済的停滞を、その背景を理解しながら、探究的に学ぼうとしている。	復習ﾃｽﾄ	レポート	レポート グループワーク

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度